

研究主題

岩手県内小・中学校の家庭学習実施状況に関する調査研究(中学校)

【研究担当者】三木久和

【この研究に関する問い合わせ】

Tel 0198-27-2735 FAX 0198-27-3562

E-mail kyouka-r@center.iwate-ed.jp

I はじめに

この研究は、県内小・中学校の教員及び児童生徒等を対象とし、家庭学習に関する実態調査をおおして、県内小・中学校における家庭学習の在り方にかかわる傾向や課題を明らかにし、各学校の指導法改善の方向性を見出す動因として行ったものです。

II 調査対象及び回答率・回答人数

1 県内全公立中学校の教員を対象とした調査

- (1) 教務主任調査
 - ・県内中学校 119/190 校より回答(回答率 62.6%)
- (2) 教科担任調査(3 学年の国語・社会・数学・理科・英語の教科担任各 1 名・計 5 名)
 - ・県内中学校 114/190 校, 553/950 名より回答(回答率 校 60.0% 人 58.2%)

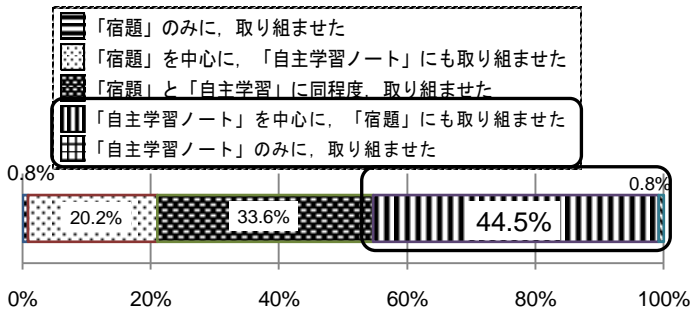
2 県内抽出公立中学校の生徒及びその保護者への調査

- (1) 生徒調査(県内中学校より、25 校の第 3 学年生徒を対象)
 - ・25 校 518 名より回答
- (2) 保護者調査(同上の生徒の保護者を対象)
 - ・25 校 496 名より回答

III 調査結果の分析と考察

1 「自主学習ノート」指導について

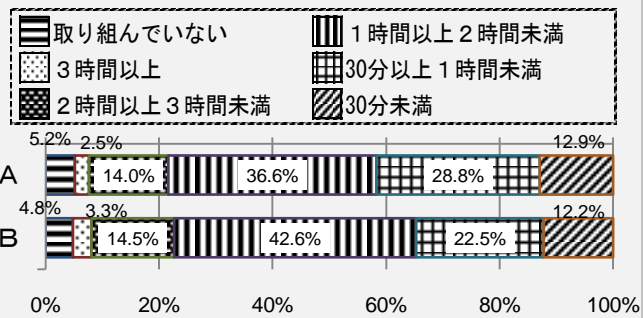
- ①【中学校教務主任調査】質問 26
学校全体として「宿題」と「自主学習ノート」にどのような割合で取り組ませましたか。



- ②A「平成 21 年度全国学力・学習状況調査」生徒質問紙
学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1 日あたりどれくらいの時間勉強をしていますか。

B【中学校生徒調査】質問 13

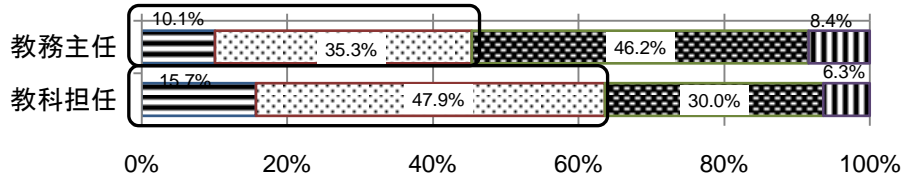
「自主学習ノート」の学習にかかる時間は平日(月曜日から金曜日)1 日平均どれくらいでしたか。



- ③【中学校教務主任調査】質問 39
【中学校教科担任調査】質問 31

「自主学習ノート」は、「ノート提出のための学習になりがちで、学力向上に寄与していない」という声が聞かれます。このことについてどのように思いますか。回答者のお考えで選択してください。

- そのように思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらかといえばそう思わない
- そのように思わない



①の教務主任調査では、「自主学習ノート」を家庭学習指導の中心としているのは、約 45%になります。しかし②、全国学調の「家庭学習」時間と、今回生徒調査の「自主学習ノート」時間がほぼ一致することから、多くの生徒の「家庭学習」時間の大半が「自主学習ノート」であると考えられます。

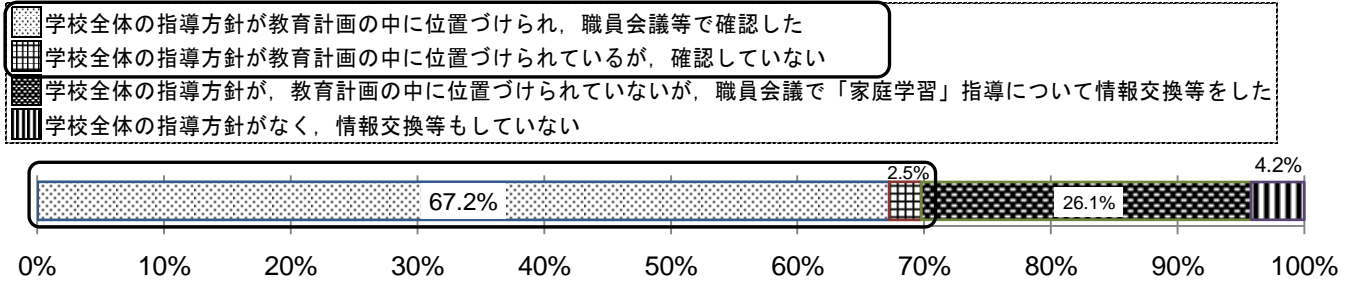
その「自主学習ノート」に対し、③では多くの教師が学力向上に寄与していないと回答しています。今後「自主学習ノート」をどのように指導していくべきなのか、またはどのような「家庭学習」指導をすべきなのか、抜本的な見直しが必要と考えます。

2 「家庭学習」の指導方針について

①

【中学校教務主任調査】質問 17

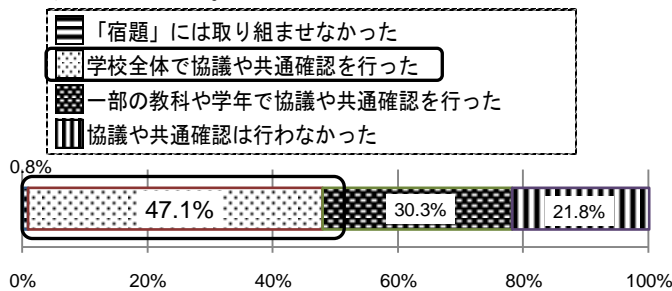
学校全体の「家庭学習」の指導方針があり、共通確認しましたか。



②

【中学校教務主任調査】質問 27

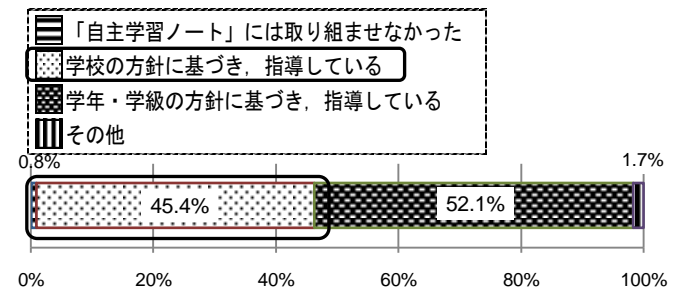
「宿題」の内容や出し方について、協議や共通確認を行いましたか。



③

【中学校教務主任調査】質問 33

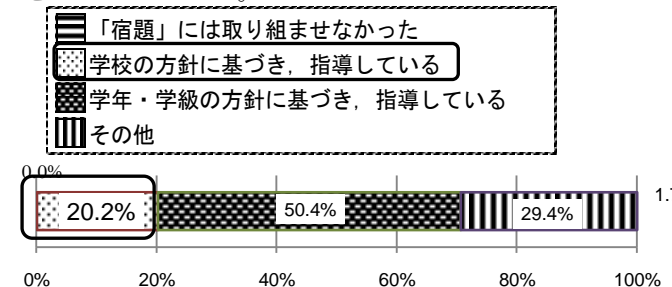
「自主学習ノート」は、学校または学年・学級の、どちらの方針で行いましたか。



④

【中学校教務主任調査】質問 31

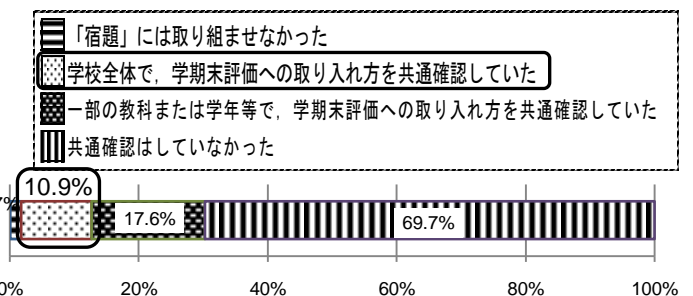
「宿題」未達成者への指導方法について、共通確認をしていましたか。



⑤

【中学校教務主任調査】質問 30

「宿題」の学期末評価への取り入れ方について、共通確認をしていましたか。



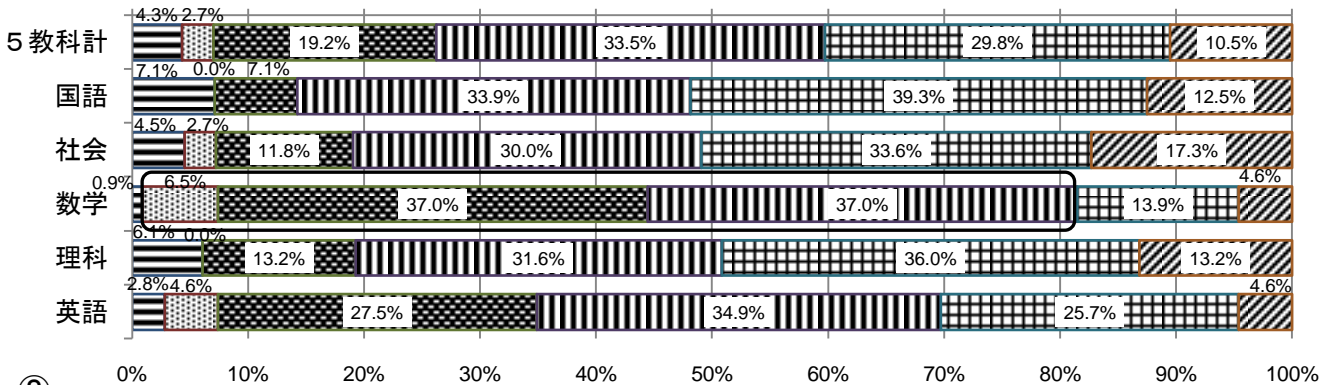
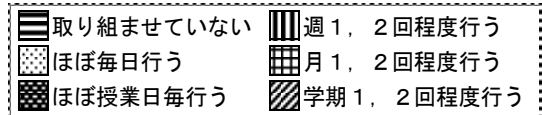
①の調査で、学校全体の「家庭学習」指導の方針が教育計画に位置付けられている、との回答は約70%でした。しかし②・③の「家庭学習」指導の中心となる指導方法に関する調査では、学校として方針を立てている割合は50%程度となり、④・⑤の具体的な指導事項に関する調査で、学校の方針に基づき、または学校全体で共通確認している割合は、さらに少数となっていきます。

現在、多くの学校で立てられている方針の多くは、いわばスローガンのものも多く、実際の指導は学年や教科、個々の教師に一任されていると考えられます。「家庭学習」に対しては様々な価値観や指導法があり、それが一つの方向性を持たないまま混然と行われ、結果として、効果を生まない指導や、指導そのものの不足を発生させていると考えられます。

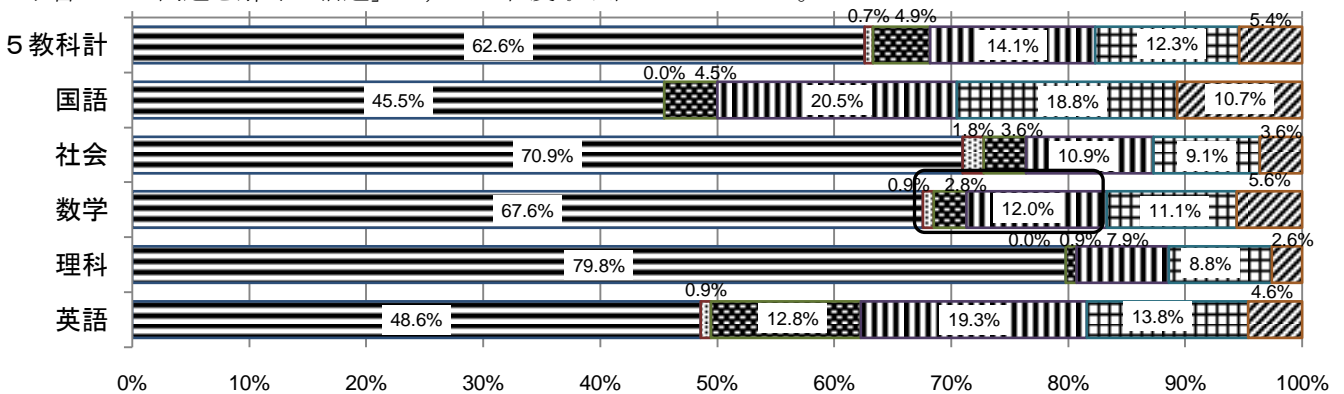
これを改善するためには、各学校の中に、「家庭学習」指導への具体的な方針を立て共通確認を行う中心となる組織や担当が明確に位置づけられることが、必要であると考えます。そして全職員、各家庭と連携しながら計画的・継続的に活動していくことが重要であると考えます。

3 「宿題」指導について その1

①【中学校教科担任調査】質問 12
教科書・副教材・プリント・問題集で「問題演習」を行う「宿題」に、どの程度取り組ませましたか。

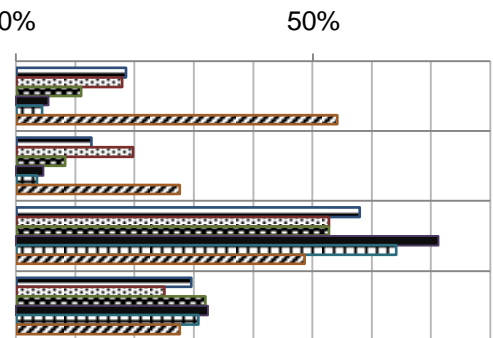


②【中学校教科担任調査】質問 9
予習として問題を解く「宿題」に、どの程度取り組ませましたか。



③【中学校教科担任調査】質問 20
授業と「宿題」との連動を図るため、どのようなことを行いましたか。(複数回答可)

	5教科計	国語	社会	数学	理科	英語
授業の予習を「宿題」とし、典型的な学習法を指導した	18.4%	17.9%	10.9%	5.6%	4.4%	54.1%
予習を活かした授業の進め方を工夫した	12.7%	19.6%	8.2%	4.6%	3.5%	27.5%
授業の復習を「宿題」とし、典型的な学習法を指導した	57.9%	52.7%	52.7%	71.3%	64.0%	48.6%
復習を活かした授業の進め方を工夫した	29.5%	25.0%	31.8%	32.4%	30.7%	27.5%



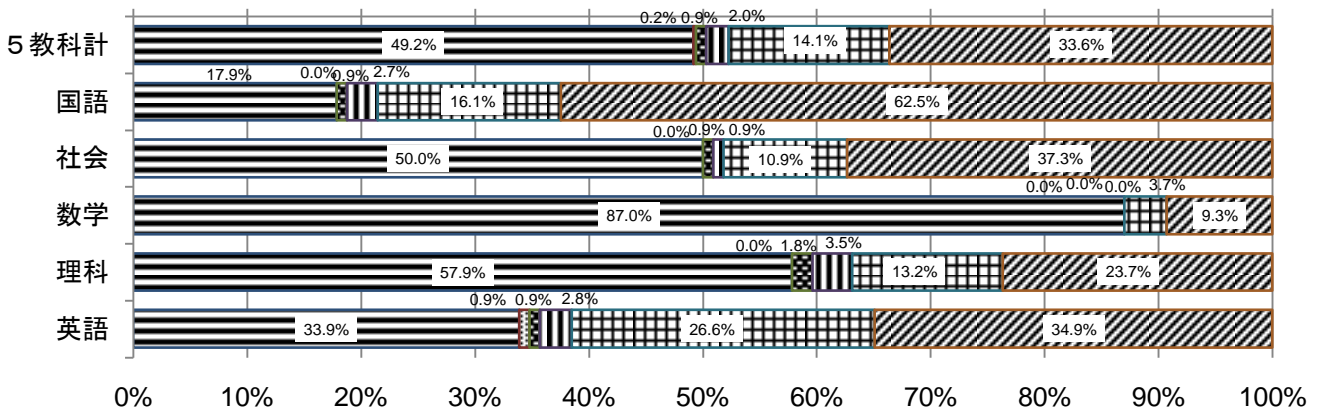
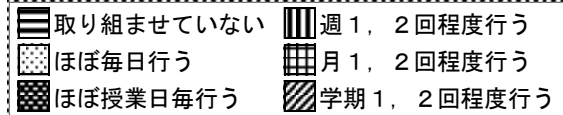
「問題演習」に取り組ませる「宿題」が、今回調査した中では最も多く出されている「宿題」です。しかし頻度的には、週1回以上出している割合が50%以上なのは「数学」と「英語」のみです。数学は、週1回以上出している割合が、最も高く80%をこえています。しかし②の調査で数学は、予習として問題を多く「宿題」の、週1回以上の割合が15.7%と減少します。また③の授業と連動した「宿題」指導でも、予習への指導は、他教科に比べても低い割合になっています。他教科も「復習優先型」の傾向が見られます。学力向上のためには、「わかる授業」の実施が出発点と考えられますが、復習のみ(優先)の「宿題」(家庭学習)で充分なのか、全体的な「宿題」量と共に検討していく必要があるのではないのでしょうか。

4 「宿題」指導について その2

①

【中学校教科担任調査】 質問 14

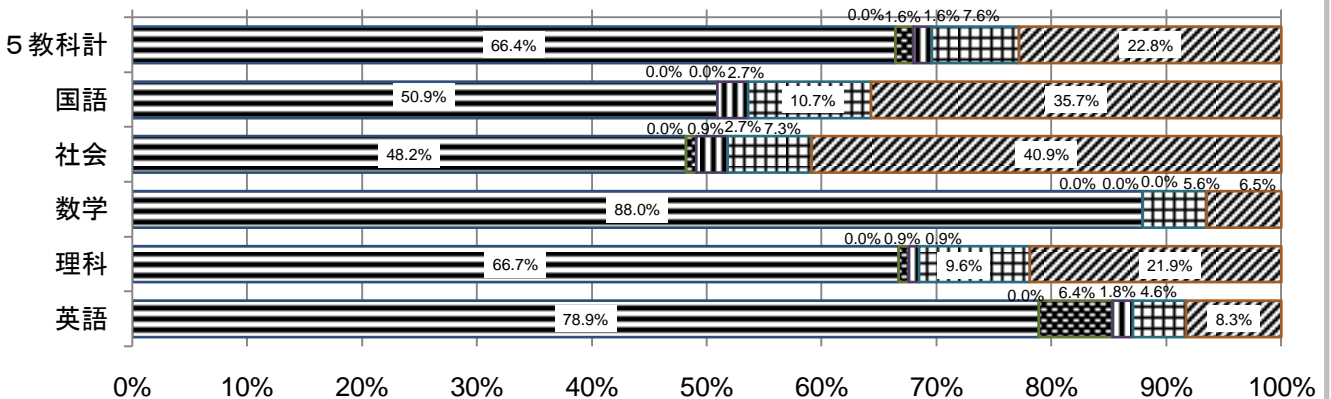
レポートや作文を書く「宿題」に、どの程度取り組ませましたか。



②

【中学校教科担任調査】 質問 15

「調べ学習」をする「宿題」に、どの程度取り組ませましたか。



③

【中学校教科担任調査】 質問 16

質問7～15以外の「宿題」に取り組ませていた方は、その内容と程度を例にしたがってお書きください。(一部抜粋)

【国語】

- ・新出漢字を使った3文日記を書かせる(ほぼ授業日毎)
- ・視写課題(新聞のコラムなど)週1回

【社会】

- ・新聞の記事を読んで自分の考えを発表させる
- ・イラスト入り年表作り
- ・気になるニュースについて調べて書かせる(学期1, 2回)
- ・新聞から興味ある記事を取り上げ、感想をまとめ発表する。出席番号順に1時間に1人行う。

【数学】

- ・日常にある数学について調べるレポート(学期に1回)

【理科】

- ・新聞の科学記事の切り抜き、要点と感想をまとめる(学期1回)
- ・星座の観察(2ヶ月に1回)
- ・天体ショーや新発見などの、新聞記事について聞く(週1, 2回程度)

【英語】

- ・プリントでオリジナル英作文(单元ごと)

教科担任調査で、単語や語句を練習させたり、問題演習を行わせたりする「宿題」は、比較的に出されていますが、①のレポート・作文を書くや、②の「調べ学習」を行わせるなど、発展的な学習に関する「宿題」に関してはあまり出されず、また出されても学期1～2回程度の低い頻度でした。

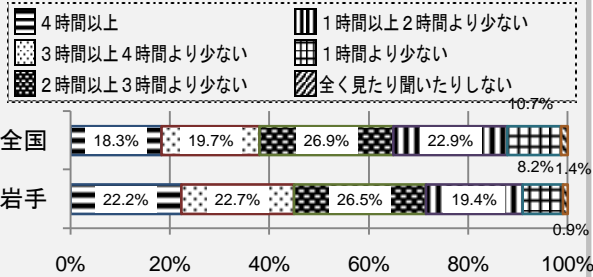
また③には、質問項目以外に取り組ませた「宿題」から、発展的な課題を抜粋してありますが、全体的にはわずかな数でした。

学力向上に知識・技能の習得は必要不可欠です。しかし学習意欲を向上させたり、知識を活用できる力を身につけさせたりするために、発展的な学習課題に挑戦させることも重要であると考えます。

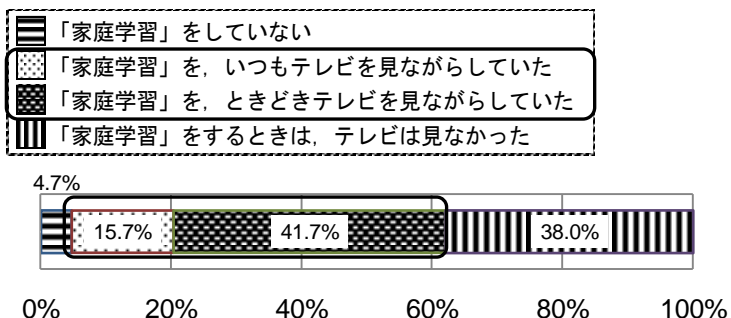
5 「ながら勉強」について

①「平成 21 年度全国学力・学習状況調査」質問紙調査

普段(月～金曜日), 1日当たりどれくらいの時間, テレビやビデオ・DVDを見たり, 聞いたりしますか。



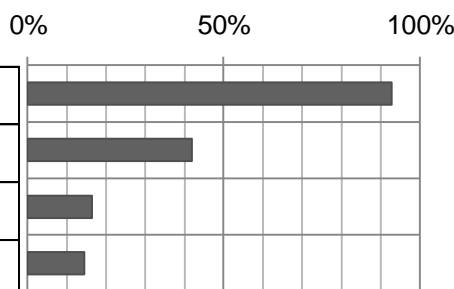
②【中学校生徒調査】質問 21
「家庭学習」をするときは, テレビが気になりましたか。



③【中学校生徒調査】質問 18

あなたの家では, どこにテレビがありますか。
(複数回答可)

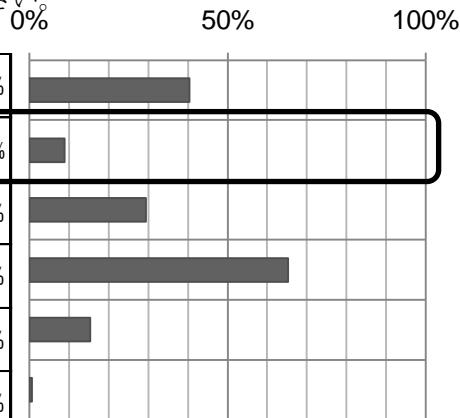
居間など, 家族が集まる部屋・場所	92.9%
客間や寝室など, 子どもだけでも自由に見ることができる部屋・場所	41.9%
家族の持っているテレビ付き携帯電話など, 自由に持ち運べるテレビがある	16.4%
子ども専用のテレビがある	14.5%



④【中学校保護者調査】質問 14

お子さまのテレビやビデオの見かたについて, 家庭でルールを作っていたこと, または心がけていたことなどを選んでください。
(複数回答可)

お子さまの部屋へは, テレビを置かないようにしていた	40.3%
テレビやビデオの視聴時間について, 1日の制限時間や, 終了時間を決めていた	8.9%
テレビを見ながら, 「家庭学習」はさせないようにしていた	29.4%
テレビやビデオの見過ぎに気付いた場合は, 注意した	65.3%
特に何もしていなかった	15.3%
その他	0.6%



①全国学調の「本県生徒のテレビ視聴時間が全国比に比べて長い」との結果から, 「ながら勉強」が多いのではとの懸念が持たれていました。今回, 小学校調査で 76.2%, ②の中学校生徒調査で 57.4%の生徒が「ながら勉強」をしていることが明らかになりました。

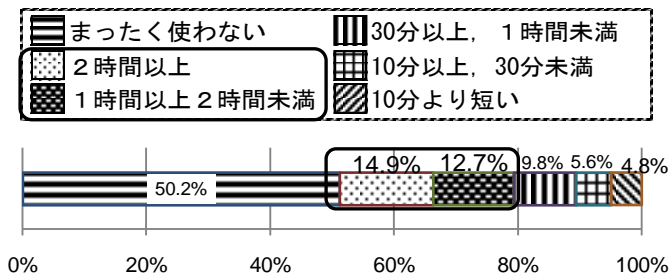
その要因として, ③の調査で示された, 多くの家庭に複数台のテレビがあり, 子どもが自由に見れるテレビが多くあることが考えられます。また④の調査のように, 家庭内で明確なルールなどを決めていないことなども考えられます。

保護者が子どものテレビ視聴を制限することは難しくなっています。生徒が自分が立てた目標や計画に従い, 自らルールを立て, 自制できる力をつけていく指導が重要性を増していると考えます。

6 携帯電話について

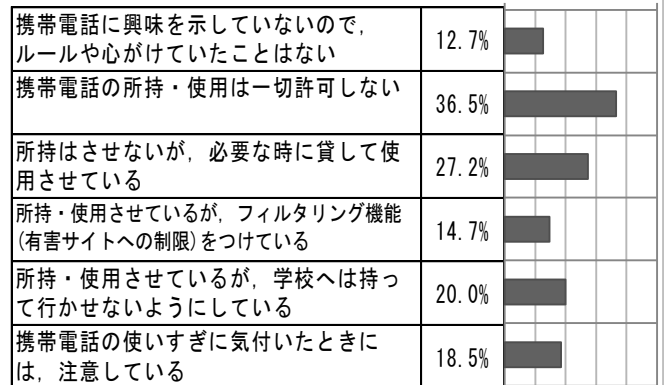
①【中学校生徒調査】質問 24

あなたは、平日(月曜日から金曜日)、携帯電話を使って1日にどれくらい通話やメール、インターネットなどをしていますか。



②【中学校保護者調査】質問 18

お子さまの携帯電話の所持や使用について、家庭でルールを作っていたこと、または心がけていたことなどを選んでください。(複数回答可) 9%

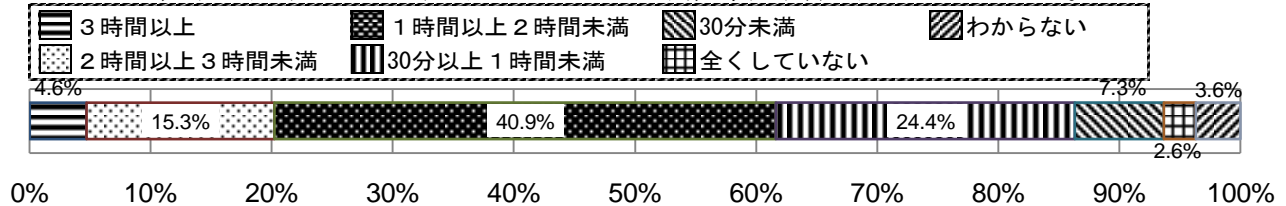


①、②の調査から、携帯電話を全く所持・使用していない生徒が約半数、保護者等から借りて使用している生徒が約1/4、個人所有している生徒が約1/4と考えられます。また、いったん所有すると1時間以上は通話やメール、インターネットなどに時間を費やしてしまう傾向が考えられます。当然「家庭学習」に与える影響も予想されます。保護者と十分な話し合いを持ち、ルールの押し付けではなく理解を深めあいながら、共に生徒への指導を行っていく必要があります。

7 保護者が求める「家庭学習」時間について

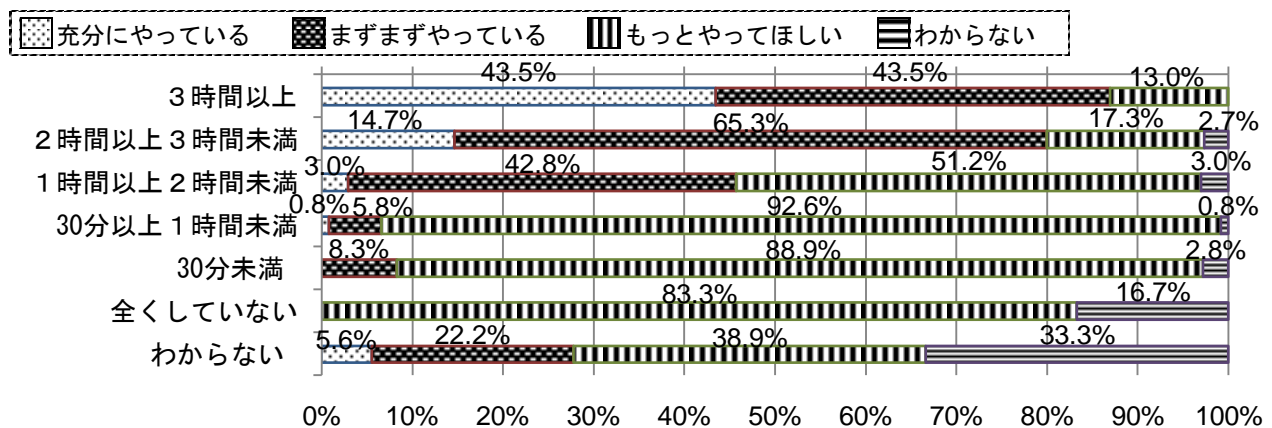
①【中学校保護者調査】質問 3

お子さまは、平日(月曜日から金曜日)どれくらいの時間、家庭学習を行っていましたか。



②【中学校保護者調査】質問 4

お子さまの家庭学習時間に対しどのように思われましたか、と上記質問3のクロス集計。

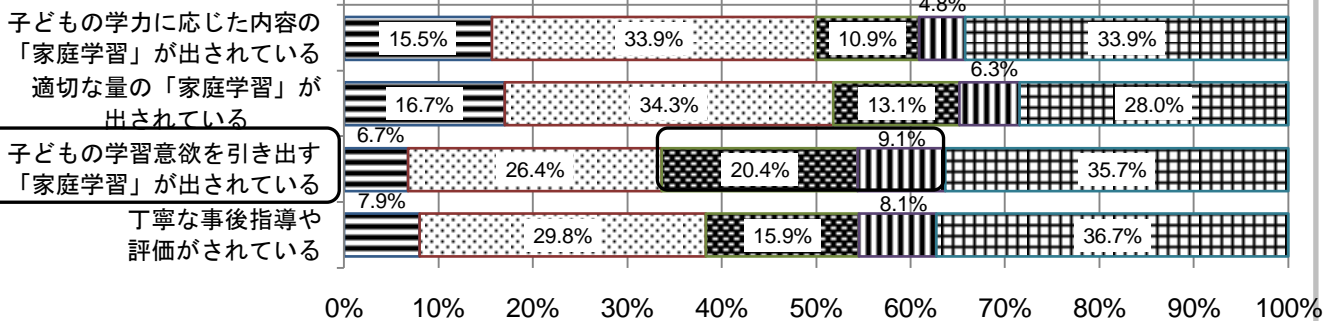
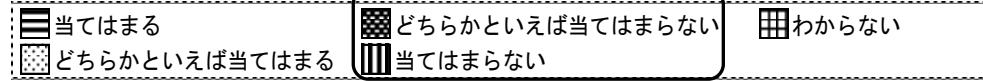


①の、保護者から見た「家庭学習」時間は、21年度全国学調の「家庭学習時間」、今回生徒調査による「自主学習ノート」を行う時間と、ほぼ同じ傾向を示しています。その学習時間に対し②のクロス集計では、1時間以上2時間未満のところ「まずまずやっている」と「もっとやってほしい」の保護者の見方が、半分に分かれる結果となりました。

8 保護者が求める「家庭学習」指導について

①【中学校保護者調査】質問 9

お子さまへの学校からの「家庭学習」指導に対して、どのように思っていましたか。当てはまるものを選んでください。



②【中学校保護者調査】質問 10

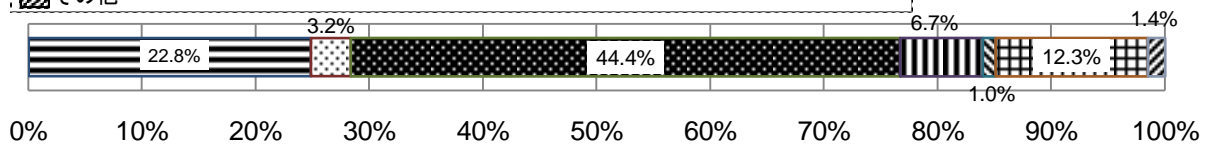
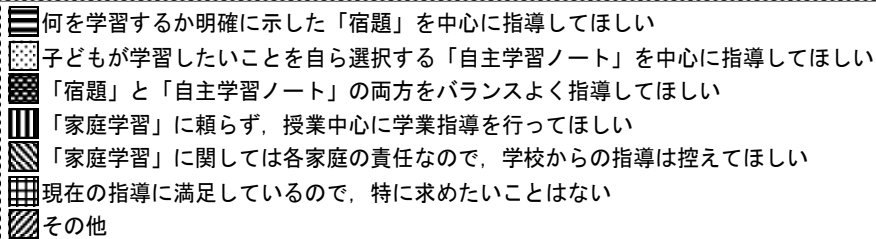
その他、中学校の「家庭学習」指導に対し、思っていたことがあればお書きください。(一部抜粋)

(一部抜粋)

- ・先生方がきちんとやってくれていると思っています。
- ・受験も近いので、厳しい位、指導をしていただきたいです。本来は本人が自覚してやらなければ意味がないのですが、それを意識させるためにも、もっと指導して欲しいです。
- ・片手間で済ませられる程度の量、内容(本人にとって)である。それには集中して取り組んでいるが、それ以上を目指す努力には結びついていない。結果、現状で良しとしている。
- ・ほとんどが自主学習で、自分のやりたいことだけを多くやってしまうので、ここは大事というところは宿題として出してほしい。
- ・ハンコ一つで終わりという日がかなりあって、当人から見れば指導されていないと思っていた。
- ・学校からのプリント関係も出さないときがあるので、実態がわからない部分もある。小学校の連絡ノートのように家庭学習の指導内容がわかるようにしてほしい。

③【中学校保護者調査】質問 11

「家庭学習」指導として、学校に求めたいことを選んでください。



①「家庭学習」指導への保護者の評価を問う調査では、どの項目も「わからない」の回答が多いものの、「学習意欲を引き出す家庭学習が出されている」は、肯定と否定が拮抗する結果でした。

②は、自由記述でありながら、回答者全体の1割以上の方からご意見をいただきました。内容は「家庭学習」の課題や指導法・評価等、多岐に渡っており、また厳しいご意見も多く寄せられました。

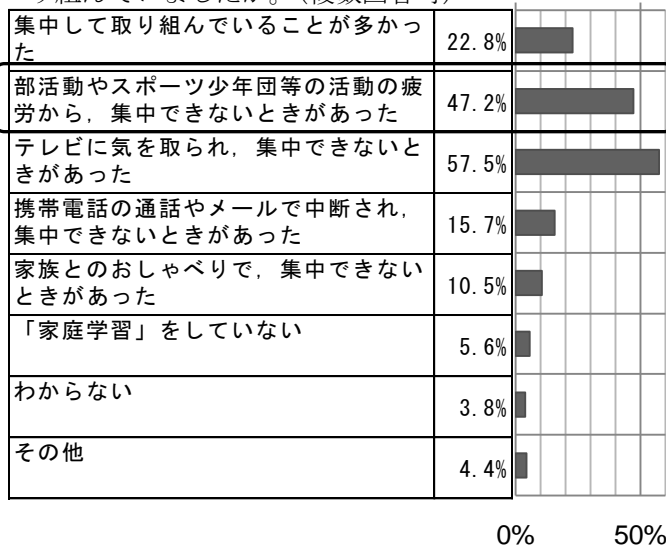
③の学校に求めたい「家庭学習」指導では、「宿題」「自主学習ノート」をバランスよくが約半数を占め、次いで多いのが「宿題」中心、「自主学習ノート」中心はごく少数という結果でした。

生徒の「家庭学習」を最も近くで見てきた保護者の意見は、貴重なものと考えます。その意見を真摯に受け止め、今後の「家庭学習」指導改善への一つの指針とすることも重要と考えます。

9 部活動・スポ少活動の「家庭学習」への影響について

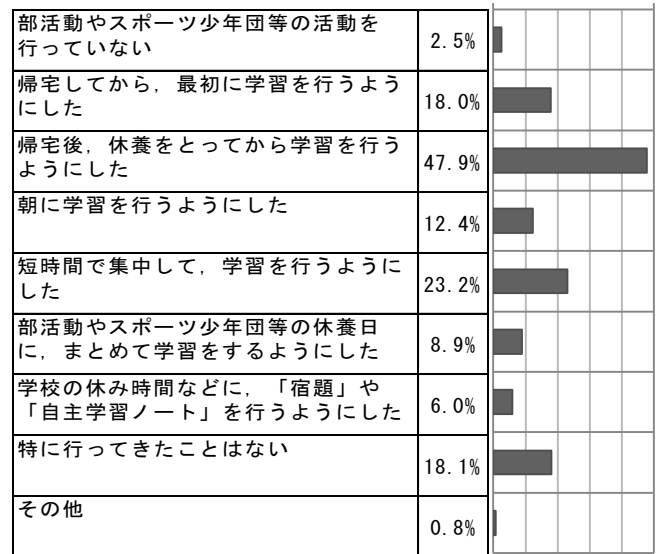
①【中学校保護者調査】質問5

お子さまは、「家庭学習」に集中して取り組んでいましたか。(複数回答可)



②【中学校生徒調査】質問31

部活動やスポーツ少年団等の活動と「家庭学習」を両立させるために、あなたが行ってきたことを選んでください。(複数回答可)



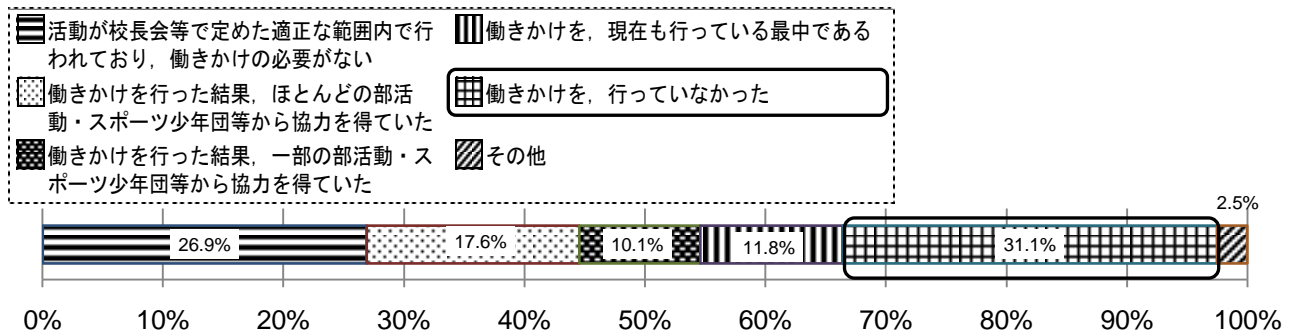
③【中学校保護者調査】質問21・24

※その他、部活動・スポ少活動等へ寄せられたご意見から(一部抜粋)

- ・部活と学校外の活動だと、どうしても学校の方が強制されるので、体力的にもつかどうか心配でした。1、2年生の頃は倒れたりしたので、もう少し本人の事を考えてやれば良かったと思いました。
- ・部活に専念したくても特設陸上部の活動が多く体力的に大変だった。好きなスポーツの試合で結果をのこさせなかった。
- ・学習時間が足りないのでは感じていたが、部活動で頑張っていたため心と体を鍛えていたと思う。

④【中学校教務主任調査】質問24

「家庭学習」充実のため、部活動の外部コーチやスポーツ少年団等の指導者、また各父母会に対し、適正な活動時間への協力を求める働きかけを行いましたか。



全国学調で、本県中学生の「家庭学習」時間の不足、特に長時間学習する生徒の少なさが上げられましたが、その背景としてテレビ視聴時間の長さや、部活動やスポ少活動等が考えられます。

①、②の調査からは、部活動・スポ少活動による疲労が「家庭学習」へ影響を及ぼし、生徒も努力を行っている様子が見えてきます。また、③の保護者調査の自由記述の意見欄には部活動・スポ少活動に加え、陸上活動からの疲労に対する意見もありました。

④の調査結果では、各学校ではそれらの問題を把握し取組を行ってはいますが、様々な状況から十分な働きかけができないでいると考えられます。

重要なのは、全ての関係者が部活動・スポ少活動と「家庭学習」、それぞれの意義を十分にとらえ、帰宅後に計画的・継続的な家庭学習に取り組めるよう、時間の使い方を工夫することであると考える。また適度な休養を大切に、何よりも健康でリズムある生活づくりの中で、それぞれの活動に努めさせることであると考える。